

読書活動への扉を開く！

No 51

桑村小学校令和5年9月27日

文責 渡邊

「ありがとう」の気持ちを大切に!!

コミュニティ・スクール通信『学校応援団会議』(R5. 9. 19発行『すてきな出会いに感謝』)で、感謝の気持ちをもつことの大切さについて記したとき、6年生の教室背面に掲示されている『ありがとう』(谷川俊太郎)の詩を思い出しました。その中に、次のような文言があります。(詩の一部を引用)

「空 ありがとう 今日私の上に来てくれて」「花 ありがとう 今日咲いてくれて」「お母さん ありがとう 私を生んでくれて 口に出すのは照れくさいから 一度っきりしか言わないけど」「でも誰だろう 何だろう 私に私をくれたのは 限りない世界に向かって 私は呟く 私 ありがとう」

自然に感謝の気持ちを抱くことは素敵なことです。空があること、花が咲いていること、私たちの周りにはいっぱい自然があります。でも、なかなか感謝の気持ちをもつことはありませんものね。お母さんに対する感謝の気持ちが描かれているのもすばらしく感じました。「口に出すのは照れくさいから 一度っきりしか言わないけど」のところが人の心情をよく表現されていると思いました。そして、最後の「私 ありがとう」で作品を終えているところに感動を覚えました。

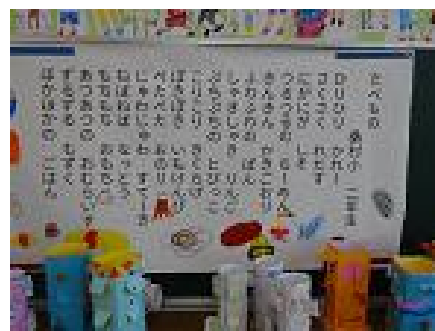
詩は短い文章の中に、作者の気持ちがいっぱいつまっています。この『ありがとう』の詩を読んで、6年生がどのようなことを感じたのか、作者である谷川氏のメッセージを受け止めたのか、想像すると何だかワクワクしてきます。

次に、豊かな感性を発揮した2年生の詩を紹介します。

たべもの

桑村小2年生

ひりひり	かれー	さくさく	れたす
にがにが	しそ	つるつるの	らーめん
きんきん	かきごおり	ふわふわの	ぱん
しゃきしゃき	りんご	ぷちぷちの	とびっこ
こりこり	きくらげ	ぽきぽき	いもけんぴ
ぺたぺた	おのり	じゅわじゅわ	すてーき
ねばねば	なっとう	もちもち	おもち
あつあつの	おむらいす	ずるずる	もずく
ほかほかの	ごはん		



【2年生教室の掲示より】

2年生は、各自が食べ物についてそれぞれの特徴を一つの文にしました。そして、それをクラスの作品としてまとめたのが『たべもの』です。見た感じ、触った感じ、味わった感じ、耳から聞こえてくる感じ等、作品から五感を働かせた豊かな感性が伝わってきます。

こうして培った子供たちの豊かな感性は、やがて身の周りの自然や他者に向けられ、「ありがとう」という感謝の思いを抱くことと思われまふ。そして、それが自分自身に向けられたとき、自分の存在価値であるとか自己肯定感につながるのではないのでしょうか。「ありがとう」の気持ちをこれからも大切にしたいものだと思ひます。